

# 世界威人傳

Vol.3 某国大統領



まだ世の中捨てたものでもない。知性は恐竜に等しく、品格にいたってはゴキブリさえ高貴に思える人物でも、運がよければ大統領になれる。アメリカンドリームは健在なのだ。

良心ある人々は彼をウソツキという。それは間違いだ。彼は正直者であり合理主義者でもある。多く人は自らの過去の不祥事を悔悟したり反省したり思い悩む。しかし彼はそんな不毛なことはしない。自分に都合の悪い出来事はすべて「なかったこと」にして、都合の良い筋書を「事実だ」と決める。決めたのだから、こんな確かなことはなく、固く信じて正直一途でアメリカに奉仕している。彼は米国史上最高の大統領であり、楯突くなど不謹慎極まりない。ヘンな質問をしまくる記者は出入り禁止にされて当然だ。本来なら銃殺刑なのだから……。

と考えると彼の言動が理解できる。すべては幼児期体験にあるのだろう。馬鹿で粗暴で手が付けられず、寄宿制の陸軍幼年学校に放り込まれた。そのトラウマが「おれはやってないよ！」と、今でも彼に叫ばせているのだ。

## 火種撒く人



(ミュシャさん、サラベルナルさん、ミレーさん、ごめんなさいね)